

## 海外安全対策情報（2020年7月～9月）

### 在ベネズエラ日本国大使館

#### 1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、本年7月～9月の間に発生したデモ件数は2,590件で、前年同期（2,114件）比で約19%減少しました。

デモで訴えられた内容は、本年に入りガソリン不足と、電気、家庭用ガス、上水道などの公共サービスの向上を訴えるものが常に上位を占めています。

また、デモ中に治安当局等が発砲したことで、3名の死者（本年累計5名）が発生しています。

#### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

##### （1）全般

当地治安当局によれば、本年7月～9月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で38%減少していますが、社会的集団隔離措置が始まった本年3月以降、減少傾向にあったものの、同措置の緩和が始まった6月以降は件数が増加しつつあります。

##### （2）各論

治安当局からの情報では、慢性的にガソリン不足の状況下にある当国では、マンション等駐車場に止めてある車からガソリンを抜き取る犯罪が増加しています。

##### （3）邦人及び邦人以外の被害事案

なし

#### 3 テロ・爆弾事件発生状況

9月18日、スリア州マラカイボ市に所在する商店「カサ・ハポネス」に爆発物が投げ込まれる事件がありましたが、日本人の関係する店舗ではないことが判明しました。治安当局等によれば、同州では恐喝事件が頻発しており、金銭の要求に応じない場合、爆発物を投げ込む手荒な手口が横行しているようです。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、現在、身代金はドルで要求されるとのことです。ベネズエラ人であっても、街頭でドルを使用して買い物をしている現状であり、誘拐事件の対象は必ずしも外国人に限られず、実際、被害者の割合は外国人よりベネズエラ人が多いとのことですから、被害に遭わないためには、「目立たない」、「用心を怠らない」、「行動を予知されない」の3原則を守る必要があります。